神奈川大学附属中学校

2024年度中学入試報告会

国　語

出題方針・ねらい

◆文章のジャンルに左右されない、
基礎的な読解力を試す。

◆思考力･判断力を試す問題も設けて、
本文に対する深い理解を試す。

2024年度入試出題内容

	第１回	第２回	第３回
漢字書き取り	８問	８問	８問
説明的な文章の読解	清水義範『「大人」がいない…』 （ちくま新書・2006年） 6,900字（本文4,000字）　論述なし	真山仁『"正しい"を疑え！』 （岩波書店・2022年） 7,200字（本文3,600字）　論述１題	広田照幸『学校はなぜ退屈で なぜ大切なのか』 （ちくまプリマー新書・2022年） 7,000字（本文4,300字）　論述１題
文学的な文章の読解	こまつあやこ『雨にシュクラン』 （講談社・2023年） 7,400字（本文4,600字）　論述なし	森絵都『アーモンド入りチョコレートの ワルツ』所収「子供は眠る」 （角川文庫・2005年） 7,500字（本文3,300字）　論述１題	朝比奈あすか『君たちは今が世界（すべて）』 （角川文庫・2021年） 5,500字（本文3,200字）　論述１題

2024年度入試結果【国語】

		第１回	第２回	第３回
受験者	最高点	92	93	91
	最低点	22	27	32
	平均点	62.0	68.0	60.5
合格者	最高点	92	93	88
	最低点	45	51	44
	平均点	69.2	74.6	72.1

	第１回		第２回		第３回	
点数	受験者	合格者	受験者	合格者	受験者	合格者
96~100						
91~95	4	4	2	2	1	
86~90	8	8	14	13	3	3
81~85	21	17	72	42	4	3
76~80	55	47	78	38	20	8
71~75	75	55	116	50	28	7
66~70	106	61	155	31	64	8
61~65	117	51	80	13	62	5
56~60	91	24	66	9	64	2
51~55	81	16	34	5	45	
46~50	45	6	15		30	
41~45	42	1	19		15	1
36~40	15		6		15	
31~35	9		5		2	
26~30	2		3			
21~25	1					
~20						
合計	672	290	665	203	353	37

大問別分析

「正答率・問いのねらい・講評」を本校ホームページに掲載しています。

◆2024年度　中学入試　第２回【国語】　正答率･問いのねらい･講評

大問	問	正答率		問いの内容・ねらい	講評
		受験者	合格者		
一	①	59.8%	70.4%	【漢字】小学校までの既習漢字を、難易度に段階をつけて問う。	小学校までの既習漢字を、難易度に段階を付けて出題。③「慣例にしたがう」が受験者全体でこちらの予想よりも書けなかったのは意外。①「名画を複製する」、⑥「一家の支柱を失う」が合否を分ける問いとなった。
	②	82.4%	89.2%		
	③	22.1%	36.9%		
	④	77.6%	82.2%		
	⑤	95.5%	98.5%		

今年度の入試を振り返って

国語力が過年度よりも合否を左右しました。

〈合格者平均点と受験者平均点の差〉

	2/1(木) 第１回	2/2(金) 第２回	2/4(日) 第３回
昨年度	5.5点	6.1点	10.3点
今年度	**7.2点**	**6.6点**	**11.6点**

今年度の入試を振り返って

差がついた問題❶ 漢字

設問	正解	受験者正答率	合格者正答率
第１回 ⑥ トトウを組んで立ち向かう。	徒党	60%	**75%**
第２回 ③ カンレイにしたがう。	慣例	22%	**37%**
第３回 ⑦ セッソウのない行動をとる。	節操	14%	**32%**

☞ 書き方だけでなく**意味や例文も**勉強しよう。

今年度の入試を振り返って

差がついた問題❷ 本文中の語彙（ごい）

設問	正解	ひっかけ（選んでしまった割合）	受験者正答率	合格者正答率
第２回〔三〕問一Ａ「（ぼくは、とっても）おめでたい（中学二年生だった）」の意味	エ　能天気すぎる	ア　縁起がよい（**47%**）	40%	52%
第３回〔二〕問二⑵「相対的」の反対の意味	ウ　絶対的	エ　主体的（**20%**）	68%	84%

☞ 選択肢は**あせらずしっかり**検討しよう。

今年度の入試を振り返って

差がついた問題❸ 対応する表現をひもづける力

第１回〔二〕問六　Y　に入れるにふさわしい表現を自分で考え、五字以上十字以内で解答欄に記しなさい。

得点率　受験者59%　合格者70%

一人前の大人であるかが故の欠点だってあるのだ。それはたとえば、斬新な発想が生まれにくい、なんてことである。慣例へのこだわりが強くて、自由にものが考えられないのだ。

⋮

…大人でない…故のよい面だってあるのだ。経験による知恵はないかもしれないが、　Y　ができるのは、大人でないが故の可能性なのだから。

○(自由で)斬新な発想　△自由な発想　＝「既存の枠組みを超える」という意味合いが必要

☞ 自分が**どこに注目しながら読んでいる**か確認しよう。

今年度の入試を振り返って

差がついた問題❹ 見解や気持ちの根拠を見逃さない力

第２回〔三〕問二　――部１とありますが、なぜナスは「そんな読み方」をしたのですか。

〔三〕…他の子どもが章の機嫌を損ねて誘われなくなったことを知っている…ナスの三人は、年長者ぶろうとする章を陰で笑いながら、章の機嫌を取ってきた。…

「ええと。イン、ザ、ノース、オブ、ザ、シティー、オブ、ヒロシマ……」
　つっかえつっかえ、ナスが慎重なカタカナ読みをする。単語はさほど難しくないから、ナスならすらすら読めるだろう。なのに、[1]わざわざそんな読み方をするナスがおかしくて、ぼくはこみあげてくる笑いを押し殺した。

ア ×ストレスを晴らそうとした　**10%**　　イ ○来年から誘われなくなるのを避けたかった　81%
ウ ×章の張り切りが他の二人へ向くのを恐れた　**7%**

☞ **直感だけ**で選ぶのは**やめよう。**

受験生へのメッセージ

はじめに、漢字力・語彙力をより高く発揮して、

❶❷ ☞書くだけじゃなくて意味や例文を調べて身に付けよう。

次に、筆者や登場人物の基準で理解できるようになれば、

❸❹ ☞自分の"誤読の原因"を確認する勉強をしよう。

結果として、見慣れない問われ方の問題※も自然に
正解できて、いつの間にか**国語が得意**になってるよ！

受験生へのメッセージ

※ 思考力・判断力を試す問題　←ここまでできてくれたら嬉しいです

	〔二〕説明的文章	〔三〕文学的文章
2/1(木) 第１回	問七 ⑴本文に関する会話 ⑵古語辞典で複数の意味を参照	なし
2/2(金) 第２回	問七　同じ書籍内の別の箇所を読んで、内容を具体化	問七　本文中に出てくる「裸の王様」と登場人物たちの関係を 照合
2/4(日) 第３回	問七　本文の主張を適切に受け止めた人の感想	問七　親に振り回される登場人物と自分を照らし合わせた人たちの会話